

平成29年9月4日
原子力安全対策室

北朝鮮核実験関連 放射能調査結果について
(第1報 9月4日10:00発表)

北朝鮮核実験に関連し、石川県では9月3日から環境放射線モニタリングを強化しています。

9月4日8時までの放射線量については、異常値はありません。

また、昨日採取した飲料水（原水）、土壌の測定についても、異常値はありません。（別紙参照）

詳細は原子力安全対策室ホームページ(<http://atom.pref.ishikawa.lg.jp/>)からも確認できます。

連絡先
石川県危機管理監室
原子力安全対策室
外線直通 076-225-1465
県庁内線 4310

石川県内放射線量の監視結果

単位: $\mu\text{Sv}/\text{h}$ (マイクロシーベルト毎時)

地点	平成29年9月4日 8時現在の値	【核実験後】 平成29年9月3日12時～ 9月4日7時		【過去の測定範囲】 平成26年度から平成28年度			
		平均値	最大	平均値	最大	最小	
志賀町	大福寺局	0.044	0.044	0.044	0.044	0.134	0.028
	大西局	0.044	0.043	0.044	0.045	0.127	0.028
	風無局	0.049	0.048	0.049	0.049	0.119	0.035
	熊野局	0.047	0.046	0.047	0.047	0.113	0.031
	福浦局	0.043	0.042	0.043	0.042	0.114	0.028
	直海局	0.051	0.050	0.051	0.052	0.106	0.031
	五里峠局	0.055	0.055	0.056	0.056	0.116	0.035
	赤住局	0.052	0.051	0.051	0.049	0.104	0.039
	志賀局	0.050	0.050	0.050	0.049	0.126	0.030
七尾市	西岸局	0.040	0.040	0.041	0.041	0.098	0.025
	能登島局	0.047	0.047	0.048	0.048	0.119	0.030
	土川局	0.044	0.043	0.045	0.044	0.105	0.028
	笠師保局	0.041	0.041	0.042	0.041	0.107	0.024
	大津局	0.045	0.044	0.045	0.044	0.103	0.030
	田鶴浜局	0.049	0.048	0.050	0.049	0.111	0.032
	東湊局	0.049	0.048	0.050	0.049	0.102	0.033
中能登町	末坂局	0.054	0.053	0.055	0.053	0.120	0.032
	能登部局	0.059	0.058	0.059	0.057	0.124	0.034
羽咋市	一ノ宮局	0.047	0.046	0.047	0.047	0.163	0.030
	余喜小学校	0.062	0.061	0.063	0.063	0.143	0.033
輪島市	門前局	0.042	0.042	0.043	0.043	0.115	0.026
	本郷局	0.040	0.039	0.040	0.040	0.125	0.020
	能登空港	0.030	0.030	0.031	0.030	0.120	0.015
穴水町	大町局	0.040	0.040	0.041	0.041	0.105	0.023
宝達志水町	志雄局	0.047	0.047	0.055	0.048	0.161	0.024
	押水局	0.059	0.058	0.060	0.058	0.165	0.034
津幡町	河北地域 センター	0.062	0.061	0.063	0.062	0.151	0.044
金沢市	保健環境 センター	0.049	0.048	0.049	0.050	0.118	0.036
能美市	辰口局	0.050	0.048	0.050	0.050	0.114	0.038
小松市	さわ池ふれ あいパーク	0.051	0.051	0.052	0.053	0.172	0.035

(注1) 原子力規制委員会において、 $1\mu\text{Gy}/\text{h}=1\mu\text{Sv}/\text{h}$ と換算し $\mu\text{Sv}/\text{h}$ で公表されていることから、県でも単位を合わせて $\mu\text{Sv}/\text{h}$ で公表することに変更。

(注2) 毎正時の10分値を記載。

環境試料(飲料水、土壌)の測定結果(人工放射性核種)

調査項目	飲料水(原水) (ベクレル ^{*1} /kg)						土壌(表層) (ベクレル/kg)				
	輪島市	七尾市	金沢市		白山市	加賀市	輪島市	七尾市	金沢市	白山市	小松市
採取日	輪島市 浄水場 (河原田川)	河内浄水場 (熊木川)	犀川浄水場 (内川ダム)	末浄水場 (犀川ダム)	鶴来浄水場 (手取川ダム)	山中浄水場 (九谷ダム)	能登北部 保健福祉 センター	能登中部 保健福祉 センター	末浄水場	松任 中学校	南加賀 保健福祉 センター
平成29年9月3日	検出なし ^{*2}	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	セシウム137 ^{*3} 8.5	検出なし	セシウム137 ^{*3} 7.2	検出なし	検出なし

(コメント)

*1) ベクレル:放射能の強さを表す単位であり、1秒間に原子核1個が放射線を放出して崩壊するときの放射能の強さを1ベクレルという。

*2) 「検出なし」は検出下限値未満であることを示す。例として、ヨウ素131、セシウム137の検出下限値を示す。

例: 飲料水(原水) ヨウ素131:約0.2ベクレル/kg、セシウム137:約0.2ベクレル/kg 土壌 ヨウ素131:約2ベクレル/kg、セシウム137:約2ベクレル/kg

*3) 極めて微量のセシウム137が検出されましたが、県内の水準点(末浄水場)の平常値の範囲内(18~38ベクレル/kg(H8~H28調査))であり、他の人工放射性核種も検出されていないことから、今回の核実験の影響によるものではないと考えております。

セシウム137は、半減期^{*4}が30年程度の人工放射性核種です。核実験の影響がある場合には、セシウム137のほか、半減期が短いヨウ素131(8日程度)などの人工放射性核種が検出されますが、今回はこれらの核種が検出されておられません。したがって、セシウム137については、今回の核実験によるものではなく、1950-60年代に行われた核実験やチェルノブイリ原発事故等の影響によるものと考えております。

*4) 半減期:放射性物質の量が半分になるまでの期間。